

令和5年3月29日

令和5年度（2023年度）社会福祉法人まるこ福祉会

事業計画書



第50回こどもレストランきらっと開催記念セレモニー

まるこ福祉会の理念

1. はじめに

まるこ福祉会が目指すもの、それは、「まるこ福祉会にかかわる全ての人が幸せになることです」そのために、「人の心に幸せの種をまき、育てる」のです。

まるこ福祉会が発足より描いてきた大切な原点であり、理念であり、実現すべき目標であります。平成16年に創設した、社会福祉法人まるこ福祉会は、今年で満19周年を迎えます。

世界の情勢に目を転じると、昨年2月に発生したウクライナを巡る危機が、止むことなく続いています。戦火の拡大で人口密集地やインフラ施設での被害も広がる中、子どもや女性を含む大勢の市民の生命が絶えず脅かされている状況に胸が痛んでなりません。

“戦争ほど残酷で悲惨なものはない”というのが、二度にわたる世界大戦が引き起こした惨禍を目の当たりにした「20世紀の歴史の教訓」だったはず。翻って現在のウクライナ危機によって、どれだけの人が命を失い、生活を破壊され、自分や家族の人生を一変させられたのか。同時に物価や輸入資源の高騰等、激動の時代は、加速度を増し、さらには追い打ちをかけるかのように、今年の2月6日に発生した「トルコ・シリア大地震」は、死者は5万人を超え、被災者も2600万人以上の大惨事となり、被害に見舞われた多くの人々の窮状を食い止めたいと願う毎日であります。

まずは私たちの置かれている立場で、まるこ福祉会の理念に立ち返り、「何のため」、「誰のため」との目的観を明確にして、足元から行動を起こす正視眼的な生き方をどこまでも追究していきたいと決意するものであります。

また、私たちの生活は多くの人々の支えと社会の営みがなければ成り立ちません。まさに、人々とのつながりの中で人生の喜びは深まるものだ実感するのです。その意味で、未曾有の脅威の中で深くかみしめた実感を共に、嵐を抜け出するため、全ての人々と連帯をしていきたいと考えます。

そのような生き方から、いかなる試練も共に乗り越え「生きる喜び」を分かち合える自身や地域、社会が求められ、「この世界で生きていくのが楽しみ」であり、「生きていて本当に良かった」と実感を皆で分かち合える地域社会を、職員全員が堅持し、誰もが持っている素晴らしい人間力を発揮して、令和5年度も堂々と前進していきたい。

2 私たちの使命「地域福祉」を推進し、「地域貢献活動の主体者たれ」

ともかく、令和5年度も、社会福祉法人の使命である地域福祉の推進を図るために、ボランティア団体チームあったかい輪を始め多くの人々との協働の力で、児童から高齢者にいたるまで、まるこ福祉会にかかわるすべての人が幸せになるよう支援を充実させ、様々な資源を有効に活用していきます。

本年も、「人材」と「職場改革」を両輪とし、「チーム・まるこ福祉会」の一員としての心意気で前進してまいります。

令和5年度の主要事業として、

- 1 障害福祉サービス事業所「きらり」、「とんぼハウス」就労継続支援B型・生活介護 協働の力で地域福祉の推進
・こどもレストランきらっと ・地域福祉あったか空間 きらり ・総合厨房 ・しあわせはこぼパン工房
ぐらんまるしえ ・サロン あったかい輪 ・きらりホール ・きらり市民ギャラリー ・ホットライン信州との協力
- 2 地域密着型特別養護老人ホーム「大樹」・ショートステイ大樹 ・地域診療所 かんわ

- 3 共同生活援助事業所 ホームとんぼⅠ・Ⅱ・Ⅲ、Ⅳ（Ⅲは、車イス対応のGHとして4月にオープン）
- 4 改良土づくり・自然農法による稲作等
- 5 墓地公園の運営
- 6 食料品等の製造・販売

私たちの事業は、次の三つの大きな柱のもと実践化を図っています。一つ目は、地域福祉の推進と地域社会のセーフティネットとしての拠点づくりであります。二つ目は、障害福祉分野が内部循環して六次産業化の推進。

三つ目は、医療行為（すなわち看取り）ができる。

この大きな三つの柱と従来からの地域社会との変わらぬネットワーク、障害者の就労支援、生活介護、相談支援、グループホームなどの多角的な支援を融合し、新たな令和5年度の事業を計画いたします。今後もかわらぬご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

3、まるこ福祉社会が目指す理念の具体化

「人の心に幸せの種をまき、育てる」

明治の文豪・幸田露伴の「努力論」の中に、「人間の生き方」を3つに分類したところがある。それは「惜福」、
「分福」、
「植福」であります。

「惜福」とは、自分が持っている財産や宝を無駄遣いしないこと。

「分福」とは、自分だけ楽しまず、人に福を分けてあげること。

「植福」とは、幸せを、人の心の畑の中に、種を蒔いてあげること。そして、幸せの花を咲かせてあげる人のことでもあります。私たちまるこ福祉社会は、この「植福」を、障害の有無にかかわらず、どんな人々も味わえるよう、施設やグループホームにおける様々な作業や生活をとおり、その人の人生において、心の畑に幸せの種をまき、幸せの花を咲かせることを、永遠に目指していきます。

○ 理念の具体化に向かう姿勢として、A T Mの実践化を図る。

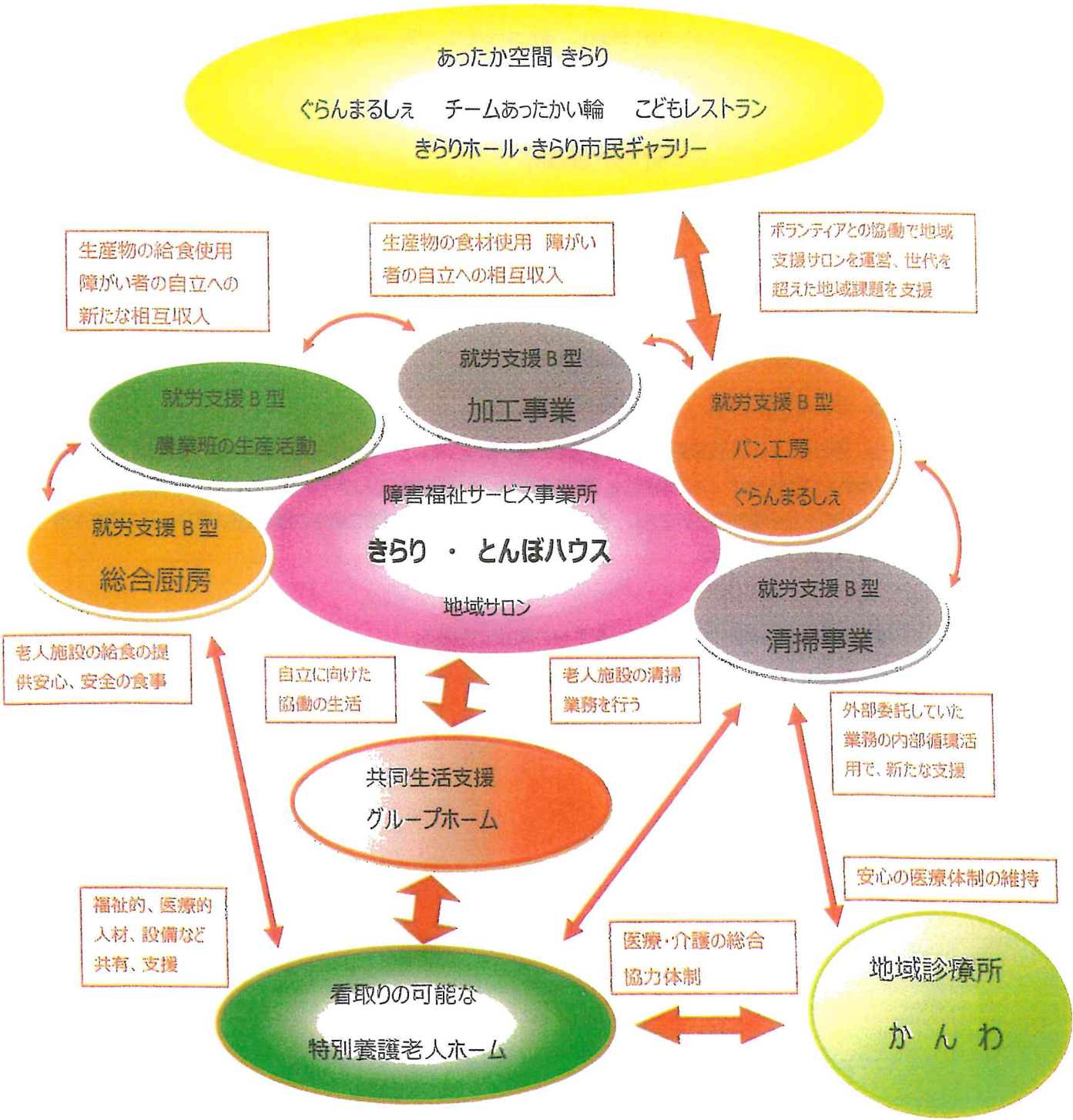
A・・・明るく T・・・楽しく M・・・前向きに

令和5年度 事業計画

1、法人総合事業計画

本会は社会福祉を推進するにあたり、以下にまるこ福祉会が創る地域支援と内部循環型総合福祉について図示し、新たな地域福祉のための事業を行って参ります。

(まるこ福祉会が創る地域支援、内部循環型総合福祉)



(1) 内部循環型総合福祉

従来の特別養護老人ホームという福祉施設では、給食業務、清掃業務、洗濯業務など多くの業務が外部委託されていました。この老人介護の施設と障がい者の支援施設が一体的に取り組むことで、今まで委託されていた各種の業務を障がい者の新たな就労支援の場として展開します。

一次的には、同じ利用者収入であっても、その業務の活用の仕方により、二次的、三次的に他分野の福祉支援にすることができるだけでなく、一次産業、二次産業、三次産業による独自化をはじめ、今まで限界と思われている仕事の可能性を広げています。まるこ福祉会の令和5年度事業計画においての中心とすべきは、この内部循環の総合的な福祉の基盤をしっかりと固め六次産業化を進めます。

そのための具体化として

- ① 大樹・きらり・グループホーム・職員の給食を、就労支援 B 型事業として運営する。
- ② 改良土、米、野菜、果樹等の農業班の収穫を可能な限り総合厨房で活用し、内部循環型の新たな業務を考え実施する。

(2) 医療分野の支援体制の確立

本会は、地域診療所「かんわ」を有しています。現在は大樹の利用者の嘱託医として、2週間に1回の木曜日診療を行っています。診療ができる医療施設をもっていることは、これからの地域福祉にとって大きな可能性を持ちます。

(3) 地域福祉拠点としての確立

本会は、あったか空間「きらり」を有しています。また、そこには就労支援 B 型のパン工房ぐらんまるしえも併設されています。地域の福祉拠点として展開しております。令和5年度は平成30年8月より開催している「こどもレストラン」は、既に55回（令和5年3月4日現在）を超え、希望の灯台となっております。

具体的には

- ① 地域交流サロンで、「チームあったかい輪」等との相互連携により、参加者の幸せ空間を創造
- ② 併設総合厨房「しあわせはこぶパン工房ぐらんまるしえ」による多角的な運営
- ③ きらりホール、きらり市民ギャラリーの活用
- ④ ホットライン信州と協働し、地域福祉の推進
- ⑤ 「こどもレストランきらっと」等の運営
- ⑥ 各種地域行事の運営
- ⑦ 東北復旧・復興支援の運営
- ⑧ 人にやさしい健康食品コーナーの運営

2、 継続して発展させるべき事業計画

従前から運営を開始した取り組みを、継続して事業発展させることを計画いたします。

(1) 地元ボランティア団体との協働

「あったか空間きらり」を活用し、7年間にわたり地元ボランティア団体「チームあったかい輪」と協働運営をしてまいりました。また、この空間は各種団体の研修や講演会及びコンサート等の会場として使用されるなど、多くの皆様が有効に活用しております。令和5年度は、更に多くの地域ボランティアなどとの力を合わせながら、総合支援事業と地域包括ケアシステムを実践していきます。

また、地元にある丸子修学館高等学校や上田高等学校等の高校生及び長野大学と佐久大学のサークルの学生たち等と協働して、各種ボランティア活動を展開します。

(2) 地域児童施設との継続的な連携・・・地域の保育園、幼稚園を始め子どもたちに夢を！

本会はこれまでも、地域の長瀬保育園・ちぐさ幼稚園・依田保育園と交流を結び、同園との交流会などを本会の会場で行うなど活動をしてまいりました。あったか空間きらりや、とんぼハウスを訪れて互いの交流が結ばれています。このような流れは、地域福祉空間を有する本会にとって大変に価値ある展開であり、本会の今後の福祉事業の展開においても全世代を支える、地域社会の総合福祉拠点としての法人使命があります。今後もきらりホールを中心に、ツリーハウスやすべり台などを有効活用し、地元保育園、幼稚園との協働事業を計画します。

3、 地域的に必要とされる事業計画

少子高齢社会が地域社会を直撃している昨今、地域にとって社会福祉法人が果たさなければならない使命もまた、重要なものとなっています。制度の隙間ともいうべき事項であり、地域的な課題のなかで、現状の本会の所有する設備や体制の中で地域支援が可能なものを実施し計画していきます。

(1) 災害時の緊急避難および体制への地域拠点として

東日本大震災や阪神淡路大震災等、我が国は多くの災害が起こりました。また、4年前の10月12日に発生した台風19号の時も上田市内は予想外の災害が起こりました。その度に人と人が支え合う地域の力が復興を可能としました。今、問われている災害時の地域の支えとしての拠点である本会の施設は、可能な限りその使命を果たして参ります。特に大樹、きらり、福祉空間の3施設は同じ敷地内で設備も大きく、災害時の拠点として機能できると考えます。

- ① 食料備蓄など・・・ 通常時から災害用の食料を備蓄し、有事の際は、その食料を使用し、利用者と共に集った住民の命を守ります。
- ② 放送、連絡体制・・・本会のネットワーク環境を災害時に適応しWi-Fiを整備しました。
- ③ 施設開放・・・福祉空間を含め、有事の際の施設開放を行うことを、支援体制として計画いたします。

④ 施設設備の充実・・・施設敷地内に井戸を設置。災害時の飲料水の確保及び水洗トイレの使用を可能とした。また、発電機・灯油・軽油・ガソリン燃料等を備蓄し、調理兼暖房用の反射型石油ストーブ等を常設し、ブラックアウトが生じた際の準備もしてあります。

(2) シェルター機能を含めた、緊急時の市民支援

近年、制度と制度の狭間で、支援や支えを受けられず更なる困窮の状態となる市民がみられます。健常者、障がい者の違いや、世代を問わず、緊急に援助が必要な困窮者がみられます。本会は現在、地域密着型特別養護老人ホーム（29床）と共同生活支援（障がい者）グループホーム4棟（29室）という二つの入所型施設を有します。当然、居住、食事、入浴設備などがあります。地域市民の緊急的な支えが必要な際、二つの施設が有するショートステイ体制を柔軟に活用して支える体制を計画いたします。

本会のこれまでの市民緊急支援の実績例

- ① 出所後の行き場を失った市民の緊急支援
- ② 就労先を失った外国人滞在者の緊急支援
- ③ 家族の支援が受けられず、行き場を失った障がい者・児童の緊急支援
- ④ 県外から上田市に移住したが職が見つからない市民の緊急支援

など、過去にも沢山の実績があります。



第Ⅲグループホーム（4月1日オープン）

令和5年度 事業計画書

施設名： 障害福祉サービス事業所 きらり

社会福祉法人 まるこ福祉会

計画責任者	施設長 小室 邦夫 副施設長 田中 二三枝	施設職員 (職責)	(サービス管理責任者)	柳澤 潤一 武舎 円賀
利用者状況	(定員) 就労継続支援B型 30名 生活介護 10名 (現在数) 就労継続支援B型 37名 生活介護 12名 登録者数 合計 49名		職員総数	30名

令和5年度は、まるこ福祉会の創立19周年を迎え、明年の創立20周年の栄えある展望を見つめ、職員全員が、次のスローガンと目標を掲げて前進する。

○スローガン 「笑顔」と「あいさつ」

○目 標 「信頼と実績で勝負」

○具体的実践 「自律と自立」

この実現達成のために、利用者、地域住民、お客様を真心でお迎えをし、真心で対応をする。その第一歩から、日々の仕事や生活に全力投球する自分自身を構築したい。その自身の心底には、絶えず「感謝」の気持ちを忘れず、心豊かにして、お会いする全ての皆様のために、日々精進をする決意である。

今日まで、きらりを中心に視察研修に訪れた方の感想は、「利用者の一生懸命な仕事に対する姿勢」と「特別養護老人ホーム、障害福祉サービス事業所、福祉空間施設の3所が並列した特色と魅力ある法人」であった。

この皆様の声を宝として、地域福祉の推進と充実を目指し、職員全員が、地域貢献活動に汗を流し先駆者として、互いの資質向上を図り、「人の心に幸せの種をまき、育てる」ことを目標に、人材育成に取り組んでいく。

1、 全体計画 (理念、目標)

1、年間目標と「きらり目標」

- ① 仲間を大切にし、明るく楽しい施設を創造する。
- ② ゆっくり、のびのびと活動が送れる場を提供する。
- ③ 一人ひとりのニーズや状況に応じた支援を通し、作業意欲の向上や充実した日常生活を目指す。
- ④ 総合厨房と地域交流スペースを充実させる。

2、理念

「人の心に、幸せの種をまき、人を育てる」ことを目標に、利用者、職員が共に、人、社会、自分のために心を磨き、仕事と生活面において充実と達成感、満足感を味わい、幸せの境涯を築く。

また、まるこ福祉会の「オアシス宣言」の日々達成を目指して、思いやりと明るさ、幸せの環境を築く。

3、事業体(管理事業所など)

きらり	職員	16	名
総合厨房	職員	14	名

2、 年間利用者目標

1、令和5年度の利用者目標

- ・ 就労継続支援B型 30人
- ・ 生活介護 10人 目標利用率 100%

3、 主な活動内容

《作業》

- ・ リール箱詰め作業
- ・ ミラマット選別作業
- ・ 菓子の箱折り
- ・ 資源リサイクル作業とアルミ缶回収
- ・ 改良土作りと販売
- ・ 農作物（無農薬米・ジャガイモ・ネギ・大豆・果樹）の栽培と販売
- ・ 味噌づくり
- ・ 惣菜の製造と販売
- ・ パン、菓子の製造と販売
- ・ 食料品等の製造と販売
- ・ 特別養護老人ホーム「大樹」の清掃作業

- ・施設外就労
- 《行事等》
- ・春と秋のバス旅行
- ・上田養護学校生徒実習受け入れ
- ・佐久大学実習受け入れ
- ・丸子修学館高等学校生徒実習受け入れと上田養護学校との交流
- ・ちぐさ幼稚園、長瀬保育園との交流
- ・利用者おたのしみ会（紅白歌合戦、お祭り）
- ・季節探しのバス旅行
- ・祝日開所
- ・音楽・文化・芸術鑑賞
- ・スポーツ（ミニ運動会等）
- ・各種団体との交流会
- ・季節の散策（遠足）とウォーキング
- ・カラオケ
- ・ハワイアンダンス、趣味の講座、絵手紙、ヨガ等諸活動
- ・地域交流 等

4、年間予定（別紙参照）

別紙 年間予定に準ずる。

5、個別処遇目標 「自律と自立を大切に」

利用者のニーズに合ったアセスメントの把握に努め、その人らしい目標（個別支援計画）を作成する。また、自らを律し、自立ある生活を目指し、様々な課題に対して自発的に取り組み、目標が達成できるよう支援していく。

6、消防計画

- ・防災消火訓練・・・9月・11月実施

令和5年度 事業計画書

施設名：共同生活援助事業所 ホームとんぼ

社会福祉法人 まるこ福祉会

計画責任者	管理者 小室 邦夫 副管理者 下村 みゆき	施設職員 (職責)	(サービス管理責任者) (世話人) (生活支援員)	下村 みゆき 9名 3名
利用者状況	(定員) ホーム総定員数 29名 (現在のホーム総定員数) 23名		職員総数	12名

1、全体計画(理念、目標)「自律と自立を基盤に」

1、年間目標

- (1) 仲良く明るく楽しい生活の場を創造し、無事故の運営を行う。
- (2) 利用者との信頼関係を構築し、規則正しい自立した生活ができるよう努める。
- (3) 利用者一人ひとりが自律し、健康で仲良く過ごせるよう支援する。
- (4) 「まるこ福祉会、命を大切にす宣言7か条」の実践により、社会性を醸成し、人権尊重の精神の体言化を図る。
- (5) 車椅子利用者のためのグループホームを運営する。
- (6) 感染症対策を徹底する。

2、理念

まるこ福祉会の理念に基づき、「利用者の自立」を支援するとともに、地域に開かれた施設とする。

2、年間利用者目標

1、令和5年度の利用者目標

① 長期利用者定員

29室 年間 10,585室

利用率100%

3、年間予定

- 1、各種行事・・・季節に応じたバス旅行、食事会等、利用者のニーズに応じた行事を行う。
- 2、世話人懇談会・・・2ヶ月に1回を目途に、必要に応じて開催し、資質の向上を図る。
利用者の状況と世話人としての守秘義務や仕事内容について、成果と課題を出し合い、円滑な運営を構築する。
- 3、利用者懇談会・・・適宜、利用者全員が集い合い、日頃のグループホームの生活状態について意見交換をし、仲良く充実した生活が送れるよう懇談の場とする。
- 4、施設整備・・・今春4月、車いすで生活可能なグループホーム(ホームとんぼⅢ)の運営。

4、個別処遇目標

- 1、個別支援計画を作成して記録の実施も明確にします。
個別支援計画は6か月ごとに見直しを行い、本人、家族の承認を得ます。

5、消防計画

- ・防災消火訓練・・・・・・9月・1月実施

令和5年度

事業計画書

施設名： 障害福祉サービス事業所 とんぼハウス

社会福祉法人 まるこ福祉会

計画責任者	施設長	下村 みゆき	施設職員 (職責)	(サービス管理責任者)	市村 直樹
利用者状況	(定員)	就労継続支援B型	20名	職員総数	17名
		生活介護	20名		
	(現在数)	就労継続支援B型	12名		
		生活介護	27名		
		登録者数 合計	39名		

1、全体計画 (理念、目標)

1、年間目標

- (1) 誰もが安心感のある、居心地の良い事業所を目指す。
- (2) ゆっくり、のびのびと、好きな活動ができる場を提供する。
- (3) 一人ひとりのニーズや状況に応じた支援を通し、充実した日常生活を目指す。
- (4) 職員全員が、地域貢献活動に汗を流し先駆者を目指す。

2、理念 『つよく・ただしく・のびのびと』

みんな仲良く、自分自身に『つよく・ただしく・のびのびと』を日々実践していく、そのために、利用者一人ひとりが自身を律し、自立した生活が送れ、日々成長できるようにする。

2、年間利用者目標

1、令和5年度の利用者目標

・ 就労継続支援B型	10人		
・ 生活介護	30人	目標利用率	100%

3、主な活動内容

令和4年4月20日、とんぼハウスは、地域福祉の拠点として『とんぼいやしの空間』を新設しオープンセレモニーを開催しました。

その後、保育園や地域の子も達が楽しそうに遊びに来るようになり賑やかな空間になりました。

『芝生広場』も完成し、『自然』と調和した景観が一段と映えるようになり、今年度は更にトレーラーハウスの有効活用として、子どもからお年寄りまで集えるサロンとして開放し、地域に愛される開かれた事業所を目指し挑戦していきます。

また昨年度より『入浴支援』も開始し、生活の場の充実を図り、楽習会や様々な体験を取り入れて、楽しく充実した毎日を送っていただけるようにサービスの提供を行います。

令和5年度、地域福祉を前進させ、地域貢献活動の先駆者を目指し、魅力ある事業所にするために、利用者、職員共に成長していくよう努めます。

(1) 趣味や特技を活かした【楽習活動】

- ① 名前(字)の練習・絵・塗り絵・貼り絵・言葉遊び等
- ② 外部講師によるワークショップの開催(ゲーム・物作り)
- ③ 手話ダンス、ハワイアンダンス
- ④ 読書
- ⑤ カラオケ
- ⑥ DVD鑑賞
- ⑦ おやつ作り
- ⑧ 体力作りのための散歩・ウォーキング
- ⑨ プール(水中ウォーキング)
- ⑩ お誕生日会ランチ・外出等

(2) 『とんぼいやしの空間』の充実

(3) 利用者の衛生管理(清潔)を目的とした入浴支援

(4) ブルーベリー、イチゴの栽培・収穫

(5) アルミ缶の回収

(6) 広告の袋入れ、機械部品の分解・分別、梱包用シートの再利用等の簡易作業等

(7) 依田保育園との交流

(8) 施設外就労

別紙 きらり年間予定に準ずる。

4、個別処遇目標

利用者のニーズは各自異なるため、きめ細かなアセスメントの把握に努め、その人らしい目標(個別支援計画)を設定し、自発的に、より楽しく取り組めるよう支援していく。

5、消防計画

- (1) 防災消火訓練……9月・1月実施

令和5年度

事業計画書

施設名：地域密着型特別養護老人ホーム 大樹

社会福祉法人 まるこ福祉会

計画責任者	施設長 田中 洋子	施設職員 (職責)	(介護主任) 上野 真由美 (看護主任) 関 恵美
	診療所 かんわ		嘱託医 1名
利用者状況	(ユニット数) 3 (定員) 特養 29名 空床利用型 ショートステイ 5名		職員総数 29名

1、 全体計画 (理念、目標)

1、理念

基本理念

「全ては、みんなの幸せのために」

- 寄り添うところと家族のきずな
- 心豊かに健康で充実した生活

行動指針

- ① 利用者の思いをくみ取り、安心して心豊かに生活できる暮らしの継続に努めます。
- ② 利用者・職員と家族の絆をつなげます。
- ③ 利用者が地域の一員と感じられるように、生活の幅を広げるお手伝いをいたします。
- ④ ご家族と共感し、入居者お一人おひとりが「生きがい」を持てるよう支援いたします。
- ⑤ 寄り添う心で生涯を支え、看取りまで対応いたします。

2、年間利用者目標

1、令和5年度の利用者目標

- ① 長期利用者 29床 年間 10,585床
- ② ショートステイ利用者 5床 年間

2、令和5年度の目標稼働率

- ① 令和5年度 長期入所者目標稼働率 100%
- ② 令和5年度 ショートステイ目標稼働率 50%

3、年間予定

- 1、各種行事・・・・・・・・誕生会・夏祭り・季節行事など
- 2、施設運営推進会議・・偶数月（年6回）
- 3、避難訓練・・・・・・・・7月・3月
- 4、胸部レントゲン撮影・・8月
- 5、夜勤者健診・・・・・・・・3月
- 6、音楽療法・・・・・・・・毎月第3月曜
- 7、さくら小路東屋での季節の花を楽しむ会（水仙、さくら、ラベンダー、彼岸花など）
- 8、きらりホールイベントへの参加
- 9、ぐらんまるしえでの会食、地元にごり寿司を楽しむ会（はせ川）、
- 10、地元バンド演奏、絵手紙教室などボランティア受け入れ再開

4、個別支援目標

- 1、ケアプランに沿ったサービスの提供を行います。（定期的に家族との担当者会議を行っていきます。）
- 2、年一回利用者・ご家族に向けアンケートを実施し、質の向上に努めます。
- 3、施設内会議、学習会や各種委員会を開催し、ケアの統一を行い、質の向上に努めます。
・レクリエーション委員・排泄委員会・サービス向上委員会・事故発生防止対策委員会・感染対策委員会
褥瘡対策委員会、身体拘束廃止検討委員会等
- 4、最期までその人らしく生きる事を支え、本人と家族の意思を尊重し、看取り支援をして行きます。

5、消防計画

- 1、避難訓練（昼間）・・・・・・・・7月 きらりとの共同での実施
- 2、避難訓練（災害時訓練も含む）（夜間）・・・・・・・・3月 特養大樹単独
- 3、施設防火管理者・・・・・・・・田中 洋子

社会福祉法人 まるこ福祉会 令和5年度 年間行事計画

R5. 評議員会、理事会

月	本部	(大) 大樹 行 事	販 売 会 等
4月	こどもレストラン 4/1	上田養護学校生実習 音楽療法 (大) 施設運営推進会議 (大) お花見 (大) バス旅行	カラオケ 移動図書館 手話ダンス お誕生日会 ハワイアンダンス 趣味の講座
5月	こどもレストラン 5/6	上田養護学校生実習 (上小障害者スポーツ大会) (ナイスハートふれあいスポーツ広場) 音楽療法 (大) 外出支援 (大)	カラオケ 移動図書館 お誕生会 ハワイアンダンス お誕生日会
6月	こどもレストラン 6/3 理事会・評議員会	田植え 丸子中央小学校音楽会鑑賞 上田養護学校生実習 施設運営推進会議 (大) 音楽療法 (大) 外出支援 (大)	カラオケ 移動図書館 手話ダンス お誕生日会 ハワイアンダンス 趣味の講座
7月	こどもレストラン 7/1	上田養護学校生実習 夏を見つけに出かけよう 外出支援 (大) 避難訓練・消防設備点検(大) 音楽療法 (大) 福祉実習 (大)	カラオケ 移動図書館 ハワイアンダンス お誕生日会 手話ダンス
8月	こどもレストラン 8/5	麻布大学付属高校演劇部公演会 夏の紅白歌合戦 パントマイム サマーボランティア受け入れ 佐久大学・丸子修学館実習受け入れ 家族合同夏祭り (大) 施設運営推進会議 (大) 音楽療法 (大)	カラオケ 移動図書館 趣味の講座 お誕生日会 ハワイアンダンス
9月	こどもレストラン 9/2	避難訓練 スポーツの祭典 外出支援 (大) 音楽療法 (大)	カラオケ 移動図書館 手話ダンス ハワイアンダンス お誕生会
10月	こどもレストラン 10/7	秋を探そう 遠足 音楽村パラ園見学 稲刈り 音楽の祭典 ちぐさ幼稚園との交流 外出支援 (大) 施設運営推進会議 (大) 音楽療法 (大)	カラオケ 移動図書館 趣味の講座 お誕生日会 ハワイアンダンス 手話ダンス
11月	こどもレストラン 11/4	劇団バク公演 収穫祭 依田保育園交流会 避難訓練・消防設備点検 大樹防災訓練 (夜間) 上田養護学校実習 音楽療法 (大)	カラオケ 移動図書館 手話ダンス ハワイアンダンス お誕生日会
12月	こどもレストラン 12/2	インフルエンザ予防接種 お楽しみ会 施設運営推進会議 (大) 音楽療法 (大) 利用者忘年会 (大)	カラオケ 移動図書館 趣味の講座 お誕生日会 ハワイアンダンス 手話ダンス
1月	こどもレストラン 1/6	成人を祝う会 音楽療法 (大) 利用者新年会 (大)	カラオケ 移動図書館 手話ダンス ハワイアンダンス お誕生日会
2月	こどもレストラン 2/3	豆まき 施設運営推進会議 (大) 音楽療法 (大)	カラオケ 移動図書館 趣味の講座 お誕生日会 ハワイアンダンス 手話ダンス
3月	こどもレストラン3/2 理事会・評議員会	音楽療法 (大)	カラオケ 移動図書館 お誕生日会 手話ダンス ハワイアンダンス

1 社会福祉法人 まるこ福祉会

資金収支予算書

(自) 令和 5 年 4 月 1 日 (至) 令和 6 年 3 月 31 日

社会福祉法人 まるこ福祉会

(単位:円)

勘定科目		R5年度予算額	R4年度予算額	増減額	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	144,500,000	138,000,000	6,500,000	
	就労支援事業収入	47,970,000	53,500,000	△ 5,530,000	
	障害福祉サービス等事業収入	189,700,000	162,350,000	27,350,000	
	経常経費寄附金収入	610,000	610,000	0	
	受取利息配当金収入	19,000	35,360	△ 16,360	
	その他の収入	20,540,000	18,740,000	1,800,000	
	事業活動収入計 (1)	403,339,000	373,235,360	30,103,640	
	支出				
	人件費支出	228,320,000	216,500,000	11,820,000	
事業費支出	96,460,000	70,423,000	26,037,000		
事務費支出	18,148,000	14,676,000	3,472,000		
就労支援事業支出	47,970,000	53,500,000	△ 5,530,000		
支払利息支出	597,000	650,000	△ 53,000		
事業活動支出計 (2)	391,495,000	355,749,000	35,746,000		
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	11,844,000	17,486,360	△ 5,642,360		
収入					
施設整備等補助金収入	0	43,000,000	△ 43,000,000		
設備資金借入金収入	0	40,000,000	△ 40,000,000		
施設整備等収入計 (4)	0	83,000,000	△ 83,000,000		
支出					
設備資金借入金元金償還支出	37,344,000	15,190,000	22,154,000		
固定資産取得支出	19,750,000	129,000,000	△ 109,250,000		
施設整備等支出計 (5)	57,094,000	144,190,000	△ 87,096,000		
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 57,094,000	△ 61,190,000	4,096,000		
収入					
サービス区分間繰入金収入	30,000,000	45,000,000	△ 15,000,000		
その他の活動収入計 (7)	30,000,000	45,000,000	△ 15,000,000		
支出					
積立資産支出	32,380,000	17,490,000	14,890,000		
サービス区分間繰入金支出	30,000,000	45,000,000	△ 15,000,000		
その他の活動支出計 (8)	62,380,000	62,490,000	△ 110,000		
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 32,380,000	△ 17,490,000	△ 14,890,000		
予備費支出 (10)	66,465,943	89,750,873	△ 23,284,930		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 144,095,943	△ 150,944,513	6,848,570		
前期末支払資金残高 (12)	144,095,943	150,944,513	△ 6,848,570		
当期末支払資金残高 (11) + (12)	0	0	0		

資金収支予算内訳表

(自) 令和 5 年 4 月 1 日 (至) 令和 6 年 3 月 31 日

【来期予算】

(単位: 円)

勘定科目		法人本部	きらり	とんぼハウス	ホームとんぼ	大樹(特養)
収 入	介護保険事業収入	0	0	0	0	144,500,000
	施設介護料収入	0	0	0	0	102,000,000
	介護報酬収入	0	0	0	0	102,000,000
	居宅介護料収入 (介護報酬収入)	0	0	0	0	2,500,000
	介護報酬収入	0	0	0	0	2,500,000
	利用者等利用料収入	0	0	0	0	40,000,000
	施設サービス利用料収入	0	0	0	0	11,100,000
	食費収入(一般)	0	0	0	0	12,900,000
	居住費収入(一般)	0	0	0	0	16,000,000
	就労支援事業収入	0	44,620,000	3,350,000	0	0
	事業収入	0	20,950,000	2,500,000	0	0
	内部事業収入	0	23,670,000	850,000	0	0
	障害福祉サービス等事業収入	0	75,600,000	73,300,000	40,800,000	0
	自立支援給付費収入	0	75,600,000	73,300,000	31,300,000	0
	介護給付費収入	0	24,000,000	57,300,000	31,300,000	0
	訓練等給付費収入	0	51,600,000	16,000,000	0	0
	利用者負担金収入	0	0	0	9,500,000	0
	経常経費寄附金収入	600,000	0	10,000	0	0
	受取利息配当金収入	1,000	2,000	11,000	2,000	3,000
	その他の収入	3,800,000	4,410,000	2,930,000	6,400,000	3,000,000
	雑収入	3,800,000	510,000	130,000	400,000	2,000,000
給食費収入	0	3,900,000	2,800,000	6,000,000	1,000,000	
事業活動収入計(1)	4,401,000	124,632,000	79,601,000	47,202,000	147,503,000	
支 出	人件費支出	19,400,000	47,900,000	45,720,000	26,800,000	88,500,000
	役員報酬支出	3,600,000	0	0	0	0
	職員俸給支出	13,000,000	24,700,000	25,720,000	8,800,000	52,000,000
	職員諸手当支出	800,000	4,800,000	4,000,000	3,000,000	14,000,000
	非常勤職員給与支出	0	12,000,000	13,500,000	15,000,000	11,500,000
	法定福利費支出	2,000,000	6,400,000	2,500,000	0	11,000,000
	事業費支出	250,000	29,290,000	13,820,000	12,530,000	40,570,000
	給食費支出	0	110,000	4,100,000	1,500,000	600,000
	介護用品費支出	0	0	0	3,000,000	2,000,000
	医薬品費支出	0	0	0	0	100,000
	診療・療養等材料費支出	0	0	0	0	120,000
	保健衛生費支出	0	160,000	60,000	0	200,000
	医療費支出	0	0	0	20,000	900,000
	教養娯楽費支出	0	320,000	300,000	100,000	200,000
	水道光熱費支出	0	11,000,000	2,150,000	4,500,000	10,000,000
	燃料費支出	0	500,000	200,000	50,000	0
	消耗器具備品費支出	0	2,100,000	1,450,000	1,000,000	6,000,000
	賃借料支出	0	700,000	30,000	10,000	1,000,000
	教育指導費支出	0	0	0	0	50,000
	修繕費支出	0	4,000,000	1,600,000	100,000	5,500,000
	内部給食費支出	0	6,200,000	200,000	2,000,000	11,800,000
	内部雑支出	0	500,000	30,000	0	100,000
	車輛費支出	250,000	2,300,000	2,500,000	200,000	200,000
	雑支出	0	1,400,000	1,200,000	50,000	1,800,000
	専務費支出	4,732,000	4,510,000	2,016,000	1,000,000	5,890,000
	福利厚生費支出	600,000	650,000	150,000	50,000	500,000
	旅費交通費支出	200,000	130,000	75,000	10,000	30,000
	研修研究費支出	300,000	200,000	15,000	0	200,000
	専務消耗品費支出	120,000	250,000	55,000	10,000	60,000
	器具什器費支出	0	60,000	30,000	0	10,000
	印刷製本費支出	36,000	350,000	40,000	10,000	30,000
	水道光熱費支出	36,000	0	0	0	0
	燃料費支出	0	50,000	0	0	0
	修繕費支出	50,000	170,000	0	0	100,000
	通信運搬費支出	20,000	250,000	250,000	150,000	300,000
	会議費支出	300,000	150,000	50,000	10,000	10,000
	葬祭費支出	0	0	30,000	0	10,000
	業務委託費支出	1,500,000	700,000	120,000	160,000	3,300,000
	手数料支出	500,000	240,000	151,000	100,000	50,000
	保険料支出	160,000	750,000	700,000	200,000	1,000,000
	賃借料支出	0	60,000	0	0	50,000
	租税公課支出	300,000	180,000	90,000	300,000	50,000
	保守料支出	170,000	40,000	160,000	0	130,000
	渉外費支出	150,000	10,000	0	0	0
	諸会費支出	150,000	20,000	40,000	0	10,000
	寄付支出	10,000	0	0	0	0
	雑支出	130,000	250,000	60,000	0	50,000
就労支援事業支出	0	44,620,000	3,350,000	0	0	
就労支援事業販売原価支出	0	44,620,000	3,350,000	0	0	

1 社会福祉法人 まるこ福祉会

(単位：円)

勘 定 科 目		法 人 本 部	き ら り	とんぼハウス	ホームとんぼ	大樹(特養)
支 出	就労支援事業製造原価支出	0	44,620,000	3,350,000	0	0
	支払利息支出	0	20,000	17,000	60,000	500,000
	事業活動支出計 (2)	24,382,000	126,340,000	64,923,000	40,390,000	135,460,000
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	△ 19,981,000	△ 1,708,000	14,678,000	6,812,000	12,043,000
施設整備等による収支	設備資金借入金元金償還支出	0	2,148,000	1,992,000	22,004,000	11,200,000
	固定資産取得支出	0	14,200,000	2,900,000	2,650,000	0
	建物取得支出	0	7,700,000	0	0	0
	構築物取得支出	0	6,500,000	150,000	2,000,000	0
	車両運搬具取得支出	0	0	1,500,000	0	0
	器具及び備品取得支出	0	0	1,250,000	650,000	0
	施設整備等支出計 (5)	0	16,348,000	4,892,000	24,654,000	11,200,000
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	0	△ 16,348,000	△ 4,892,000	△ 24,654,000	△ 11,200,000
収 入	サービス区分間繰入金収入	20,000,000	10,000,000	0	0	0
	その他の活動収入計 (7)	20,000,000	10,000,000	0	0	0
支 出	積立資産支出	200,000	450,000	20,330,000	100,000	11,300,000
	退職給付引当資産支出	200,000	450,000	330,000	100,000	1,300,000
	施設整備等積立資産支出	0	0	20,000,000	0	10,000,000
	サービス区分間繰入金支出	0	5,000,000	10,000,000	0	15,000,000
	その他の活動支出計 (8)	200,000	5,450,000	30,330,000	100,000	26,300,000
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	19,800,000	4,550,000	△ 30,330,000	△ 100,000	△ 26,300,000
	予備費支出 (10)	6,535,870	18,434,293	21,452,031	2,952,642	17,091,107
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 6,716,870	△ 31,940,293	△ 41,996,031	△ 20,894,642	△ 42,548,107
	前期末支払資金残高 (12)	6,716,870	31,940,293	41,996,031	20,894,642	42,548,107
	当期末支払資金残高 (11) + (12)	0	0	0	0	0